

JAえんゆう広報誌

# ひざし

2020 1

No. 251

謹賀新年

# ひざし

## 2020.1月号 No.251

### 今月の主な記事

#### ◎新年のご挨拶

えんゆう農業協同組合

代表理事組合長 中川 菊夫……2

網走農業改良普及センター遠軽支所

支所長 竹岡 裕之……4

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 飛田 稔章……5

JAえんゆう青年部

部長 福島 達也

JAえんゆう女性部

部長 松浦三代紀……6

◎一日皆貯金当選者発表……7

◎上湧別地区女性部研修

◎女性部フレッシュミズ合同研修会……8

◎JAえんゆう青年部設立20周年記念式典

◎酪農青年部視察研修……9

◎令和元年度役員海外視察研修……10

◎JAグループ通信……12

◎全道JA青年部大会

◎退職者挨拶……13

◎平成31年度

営農計画書作成協議日程について……14

# 組合長新年のご挨拶

えんゆう農業協同組合

代表理事組合長

中川 菊夫



組合員の皆様、並びにJA役員  
の皆様におかれましては、令和最初  
の新年を、ご家族の皆様と共に健や  
かに迎えられましたことを心よりお  
慶び申し上げます。

舞い申し上げます。一方、道内並  
に当管内につきましては、自然災害  
や大きな農作業事故もなく、昨年  
と比べると平穏な年になりました。  
当地域の天候を振り返りますと、  
四月中旬以降、温暖な日が続く雪解  
けが進み、春耕作業は順調に進み、  
ゴールデンウィーク中には玉葱移植  
が終了いたしました。五月に入つて  
も干ばつで中旬以降は気温の高い日  
が続く、播種作業全般が昨年より早  
く終了いたしました。また、二六日  
には遠軽で37℃湧別で38℃の猛暑日  
があり、作物への影響が懸念されま  
した。六月はオホーツク海高気圧の

影響で低温でしたが、一番牧草は刈  
り遅れることなく終了しました。七  
月上旬も気温は低く推移しました。七  
月中旬から平年並みになり、下旬には  
気温が高く干ばつ傾向は続き、小麦  
の刈り取りは順調に進みました。八  
月になると前線や台風の影響等で雨  
が多くなり、玉葱と二番牧草の収穫  
が遅延が生じました。収穫期の九月  
はにわか雨が少し多かつたものの晴  
天も多く、十月も天候に恵まれ、収  
穫作業に秋耕し作業も順調に終了し  
ました。令和最初の天候は、総じて  
干ばつ気味に推移して日照時間も多  
く、豊作基調でありました。毎年異



今月号の「いもたま作造くん」  
はお休みさせていただきます。

「クロスワードパズル」「当選者発表」  
「読者の声」は休載させていただきます。

# 謹賀新年

令和2年 元旦

えんゆう農業協同組合

代表理事組合長 中川 菊夫  
代表理事専務 菅井 誠  
理事 菅井 秀幸  
理事 関口 哲治  
理事 阿部 和彦  
理事 八巻 武則  
理事 岡和田 博  
理事 横尾 俊雄  
理事 高橋 敬貴  
理事 古閑 則一  
理事 情野 克利  
理事 城岡 克利

なる天候に対応できる組合員の肥培管理技術には、改めて敬意を表するところでございます。

畑作の状況につきましては、播種移植作業が順調に進み四〜七月の干ばつ傾向の心配はあったものの、積算日照時間・気温ともに平年を上回り、不作の作物は無いと言える程、豊作の年となりました。平均反収では、玉葱平年4・2基に対して4・7基、小麦平年8俵に対して8・6俵、甜菜平年4・7tに対して6・1t、糖度17・2度、馬鈴薯平均3・2tに対して3・5t、南瓜平年1・3tに対して1・8t、その他ブロッコリー、スイートコーン、大豆についても平年を上回り大豊作の年となりました。しかし、全道的に豊作であったことから、青果物等が低価格で推移している事は、誠に残念であります。今後の価格に期待するところですが。

また、酪農については、当JAの乳価は加工原料乳補給金等を含め税込で102円、十一月末出荷乳量が前年同月比102・58%と順調な増産になっており、個体販売価格は需給バランスが回復し、初任牛、育成牛、初生は夏以降値下がりしましたが、元の価格に戻り始めたという感じで、まだ高値と言えるのではないのでしょうか。

昨年の粗飼料は、前半は干ばつで草丈の伸びは悪かったものの、後半は断続的な雨もあり回復し、牧草は生収量で平年比八割強、乾物収量では平年並み、デントコーンは生収量で平年並み、TDN収量では二割増しとなり、一昨年のような粗飼料不足の懸念がなく、今年の生乳増産に

つながる大きな要素として、期待できるものです。

当JAは、昨年十一月に乳牛の哺育育成センター建設に向けて設立運営委員会を発足させ、令和四年度中に完成稼働を目標として具体的に動き出しました。委員には、JA役員その他に、酪農部会役員にもご参加いただいております。利用者の意見も取り入れながら、飼養管理施設や労働力不足という課題解決に向けて、進めて参ります。また、昨年開催いたしました秋季営農懇談会にて、賦課金の見直しについてお願いいたしました。本年度の通常総会で承認を得られましたら、購買手数料率の引き下げを行います。

一方、農政に目を移しますと、昨年二月にTPP11・EUとのEPAが発効になり、更に本年一月からは日米貿易協定の発効が決定されました。日米の協定により、道内農業生産額への影響は三百〜四百億円と見られておりますが、組合長会を始め関係機関と共に、道内農業への影響を最小限に食い止める対策や、生産者の不安を払拭することを国等に対して要請を行っております。引き続き動向を注視し、将来に亘って生産可能な農業政策が打ち出されるようJAグループ一丸となって運動してまいります。また、昨年十二月に加工原料乳の集送乳調整金が五銭の増額で決定し、農水関係補正予算では、畜産クラスター事業の継続も決定され、規模要件を緩和し中小農家の規模拡大の後押しになるよう見直されるようです。畑作関係では、直接支払交付金単価は三年ごとに見直される事になっ

ており、小麦と甜菜は近年豊作傾向で生産費が下がったことから、小麦で一俵二百五十円の引き下げ、甜菜は糖度が上昇傾向にあることで基準値を大幅に上げられそうでしたが、〇・三高い一六・六度、t六一〇円引き下げとなりました。大豆については、一俵八一〇の引き上げ、でん源馬鈴薯はt一八九〇円引き上げと、何れも消費税と貿易協定への影響を加味しての決定となっております。

JAの自己改革を巡る情勢については、農水省から「JAグループの自己改革は進展した」と評価を得ましたが、今後の「農協経営の持続性」として、信用事業収支への依存度が高いと課題提起されており、信用事業収支の厳しさが増す中で、当JAも、販売・経済事業で利益増加のための方策を工夫していかねればなりません。一昨年JA大会で決議されました「協同の力で農業所得増大と多様な担い手の確保・育成」を実践するためにも、強固な経営で、皆様が安心して営農できる環境づくりを目指してまいりますので、本年も特段のご協力とご理解をいただき、ますようお願い申し上げます。

今年の子年ですが、「神話には鼠は大黒天の使いで、五穀豊穡や実り財力」の意味を持っており、今年も昨年同様引き続き豊穡の秋を皆様と共に迎えてまいります。結びにありますが、今年も天候に恵まれ、災害がなく、組合員家族の皆様のご健康と家内安全、絶対無事故を心よりご祈念申し上げます。令和二年新年の挨拶といたします。

酪農専門部会		ブロッコリー専門部会		ビート専門部会		玉葱専門部会	
代表	石田 佳宏	代表	藤井 和人	代表	高柳 雅一	代表	井上 靖
常勤	馬場 秀人	常勤	藤井 和人	常勤	宮嶋 浩力	常勤	山田 雅敏
監事	高橋 淳	監事	山口伸太郎	監事	宮嶋 浩力	監事	山田 雅敏
参事	岡村 貴幸	参事	山口伸太郎	参事	宮嶋 浩力	参事	山田 雅敏
職員	城岡 克利	職員	山口伸太郎	職員	宮嶋 浩力	職員	山田 雅敏

# 新しい年を迎えて

網走農業改良普及センター遠軽支所 支所長 竹岡裕之



新年明けましておめでとうございます。令和二年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

農業者、関係機関の皆様には平素より農業改良普及事業の推進に對しまして深いご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年の本道農業を振り返りますと、天候が比較的に穏やかに推移したことにより、水稻をはじめ多くの作物で平年作を上回りました。

一方、府県に目を向けると9月には台風15号が首都圏を直撃し、その後の台風19号では大雨による河川氾濫など、各地に大きな農業被害をもたらしました。被災地、被害に遭われた方にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興、経営再建をお祈り申し上げます。

J A えんゆう地域の気象経過と農作物の作況を振り返りますと、春先は高温少雨の状況下で、は種・移植作業は平年より早く進みました。その後も高温少雨の傾向は続き、萌芽や出芽は良好でした。

秋まき小麦では出穂も早く、気温の上昇とともに成熟期も早まりました。成熟期以降、好天が続いたため、収穫作業は順調に進み、子実収量は平年を上回りました。

てんさいの移植、直播栽培のは種作業は順調に進みました。その後、適度な降雨もあり活着は良好でした。生育も良好に推移し、根重は平年を大きく上回り、糖分は平年並みでした。

たまねぎでは、移植作業は順調に進み、その後の降雨により活着は良好でした。気候が少雨傾向で推移したため、干ばつ気味となりかん水も行われました。収量は平年並みであり、品質も良いことから製品率も高まりました。

飼料用とうもろこしについては、は種時期の晴天に恵まれ、作業は順調に進みました。夏場に高温が続いたため登熟が進み、生収量は平年より多く、TDN収量は大幅に増加しました。

牧草では、春先の高温少雨から出

穂は平年より早まり、一番草の収穫作業も順調に進みました。収量では1番草は平年並みでしたが、2番草は平年を下回りました。

農業をめぐる情勢では、農家戸数の減少や高齢化、労働不足などの課題に直面しています。また、日EU・EPAやTPP11の発効に加え日米貿易協定が最終合意（発効）されるなど国際化への的確な対応が求められます。一方、近年多発する台風などの自然災害に對しても備えを強化する必要があります。

生産基盤の確立はもとより、多様な担い手の育成・確保、スマート農業の推進など農業生産力の向上や農村の活性化に向けた取り組みが重要です。

普及センターとしても生産者や関係機関の皆様と連携し、地域の農業振興を目指した取り組みを積極的に進めてまいります。

最後になりますが、本年の豊稔の秋とご家族の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。ご挨拶いたします。

## 小麦専門部会

部会長 花木 慶喜  
副部会長 前島 英樹  
" 安本 崇

## 南瓜専門部会

部会長 中川 悠一  
副部会長 松崎 一史

## 農機推進委員会

部会長 水野 暁  
副部会長 柳田 拓馬  
" 岡田 拓也

## えんゆう農協青年部

部会長 福島 達也  
副部会長 小倉 広嗣  
" 長谷川雄基

## えんゆう農協女性部

部会長 松浦三代紀  
副部会長 松田美由紀  
" 北村 広子



# 令和2年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 代表理事会長 飛田稔章



組合員並びにJA役職員の皆様には、輝かしい令和2年の新年を迎えられたものと心より、お慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先に道内各地において強風に見舞われ、広範囲にわたり農業被害が発生し、一部蒔き直しが必要になった地区も発生しました。

その後は干ばつ等もありましたが、天候は順調に推移したことで収穫も進みました。お米の作況指数が104の「やや良」、小麦、てん菜は平年作以上となる結果となり、生乳は良質な飼料作物確保による安定的な生産が見込まれ、作目によって違いはありますが概ね良い出来秋を迎えることができたと感じております。

しかしながら、全国的には8月末に発生した九州北部豪雨や、9月、10月と東日本を中心に大きな被害をもたらした台風15号、19号など、大規模な災害が発生した年となりました。

北海道においても一昨年、胆振東部地震により多くの支援を頂いた経過にあり、JAグループ北海道として全国連と協力し積極的に支援をして参りたいと考えております。

国際貿易交渉については、昨年2月1日に日EU・EPAが発効となり、日米貿易協定は昨年10月に署名がなされ、国会審議を経て12月4日に承認案が可決されました。日米貿易協定の影響試算では、1、100億円の生産減少額のうち3〜4割が北海道への影響とみられており、JAグループ北海道として北海道農業への影響を最小限に食い止める対策や、生産者の不安を払拭することを昨年より国等に対して要請を行っております。今後も動向を注視し、北

海道農業が犠牲とならないよう毅然とした対応を求めてまいります。

さて、JAグループ北海道は、昨年11月12日に第29回JA北海道大会決議事項の実践事例や現状の課題を、JAグループ全体で共有すること、内外に実践状況を発信すること目的として、JA北海道大会実践フォーラムを開催したところです。

引き続き、組合員・JA・連合会・中央会が一体となり、大会決議事項の実践に取り組み、基本目標の達成につなげてまいります。

結びになります。今年の干支は庚子（かのえね）です。子には、「ふえる・しげる」の意味があり、種子の中に新しい生命がぎざし始める状態だといわれています。

今年はこの庚子年にあやかり、農業にとつて輝かしい未来が芽生く年となること、併せて北海道農業並びに組合員、役職員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。



# 新しい年を迎えて

J A えんゆう 青年部

部長 福島 達也



新年あけましておめでとございます。

令和二年の新春を迎え、青年部部員ならびに農業関係者の皆様には心よりお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、春先の天候にも恵まれ、自然災害の被害もなく、農畜産物は平年以上の作柄を確保出来た年でありました。

農業情勢につきましては、T P P、農業改革、昨年の十月一日から消費税の増税等に伴い、農業を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。

しかし、この様な状況下でも、我々青年部は一致団結し、日本の農業を守り、より良い農業発展のために活動していきましました。

青年部活動としましては、例年実施している町主催の事業への参加、オホーツク農協青年部協議会などの上部団体事業への参加、P R 活動、上湧別小学校四年生を対象とした農業体験の他、新たに地元の学校の教員を対象にした農村ホームステイ受入事業と、えんゆう農協青年部設立二十周年を迎えたため式典を行います。

した。農村ホームステイでは、上湧別小学校の小野先生を畑作の長谷川農場が受け入れ、玉葱の収穫と選別作業を行いました。小野先生ならびに長谷川農場には農村ホームステイにご協力頂き、誠にありがとうございました。

管内青年部の盟友が協力して開催したオホーツク農業祭では、産直市・食育コーナーでの解説、試食・バター作り体験を行い、消費者と触れ合うことで農業への理解を深めてもらうことが出来ました。その他の事業につきましても関係機関各位のご協力により、円滑に進められたことに厚く御礼申し上げます。

そして、今後の青年部活動で、部員相互の団結を深め、積極的な事業展開に取り組み、個々の営農意欲の向上、活力ある青年部作りに励んでいきたいと存じます。

最後になりましたが、本年も関係機関各位および部員各位の一層のご声援とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

# 新年のご挨拶

J A えんゆう 女性部

部長 松浦 三代紀



新年あけましておめでとございます。

令和2年の新春を迎え、女性部員の皆様には心よりお喜び申し上げます。

日頃より女性部活動に對しまして、農協をはじめ、各農業機関・組合員の皆様、御家族・役職員の方々には、温かい御支援と御協力を頂き、感謝申し上げます。

近年の度重なる自然災害には、私達の地区には直接被害は無いものの、日本の何処かで同業者の方々が大変な思いをされている映像や紙面を見る度、心が痛みます。これからは災害が少ないと言われる地域でも、しっかりとした災害に對しての備えが必要だと思ひます。

昨年11月19日の女性部合同研修では、消防署職員に講師として来てい

ただき、救急救命講習会を受講致しました。3人1組になり、心肺停止状態の人を、実際にA E Dを使って救急車が来るまでの間に行う応急手当を学びました。

女性部活動では、仲間作りも大事な活動の一つと考え、行事を行っております。経営者のパートナーとして、部員各自が心も体も健やかに日々の生活を送っていたきたいと願っております。悩み事や気になる事があれば、夫婦で話し合う習慣をつけましょう。そういう場所に、女性部を活用していただきたいと思ひます。

本年も引き続き、各機関の皆様には、女性部への御指導と御協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。新年の御挨拶をさせていただきます。

# 一日皆貯金

# 当選者発表

## 〈特賞〉 一万円 (五名)

成瀬 耕治・高橋 葉子・石川 定幸  
久須田宏子・工藤 敏弘

## 〈金賞〉 五千元 (十五名)

吉村 初江・加藤 正子・紺野 藤子  
清水 香蓮・有馬 花子・高谷 慎二  
山本 初枝・牧野ミキ子・野田 光  
石山 幸一・阿部 幸子・江面 暁人  
岩城 健治・岡村 愛子・井上久美子

## 〈銀賞〉 三千元 (三十五名)

千葉 京子・山田 英夫・大沼 紀昭  
水牧 将太・城岡 果南・安本 博  
涌島 隆子・矢内 恵子・河原 浩  
小林 洋子・高木 勝喜・伊藤 悠  
横尾 悠太・中川 節子・斎野 勝子  
山田アヤ子・増田かつ子・鈴木美知子  
西川芙美子・松浦寿女子・植村亜希子  
菅井 潤・石山 幸枝・大江 栄子  
市原 美咲・稲田 由美・岩城 芽杏  
井上 みつ・市原 希美・新野尾伸一  
伊藤みよ子・加藤由美子・向中野ヒサ子

鈴木 智志・三浦 郁子

## 〈銅賞〉 一千元 (百名)

熊谷 勝己・加藤 紀恵・鈴木 昭人  
浅井 博行・加藤 今夫・吉村 邦彦  
竹内 寿江・前川 芳男・馬場 咲子  
岩瀬 千昭・吉田 健二・中川 郁子  
野田 和美・平井 貴幸・松田 信一  
高谷 百子・出口 美晴・三品 節子  
荻原 敏枝・国枝 眞佐・平井 眞紀  
高橋 航大・三品 結愛・小島 文子  
岡村 英巳・寺西 正信・池田 輝男  
三品 正幸・村田 美佳・松田 大夢  
加藤 美恵・田中 初雄・上松 晶子  
熊谷 基美・国分 利影・小崎 光  
三品 萌桃・清水真由美・國枝由紀子  
長谷川静香・宮崎真由美・水橋 環  
長谷川眞弓・平井千江子・長谷川美香  
野村なおみ・志賀かをる・秋葉キミ子  
向平 るみ・恩田 あき・辻 美奈子  
三品 勲・澤口 豊・三浦 敏  
平山 唯露・御囲有輝子・野村真理子  
鈴木 真弓・菅井美枝子・花田八重子  
小森 節子・古関ひとみ・伯谷美紀子  
山口 蔵壘・途中由香理・大久保 淳

森谷 香織・斉藤美紀子・久須田彩子  
渡辺 博之・大久保真由美・菅井 讓  
森笠 信重・鈴木 浩一・高栖 正則  
山口 響稀・樋口 未穂・西塚 滋  
高橋 成伍・高栖 功直・栗野 和久  
井上 富昭・野田 健斗・南條 朝子  
小倉 福子・福田 純一・高橋 孝子  
高栖 昂央・澤村 麻紀・高橋 李緒  
工藤 佑奈・(有)岩城農場・関東 和行  
大熊 佳代・神田 憲一・加藤 忠則  
工藤 洋子・大嶋 翔真・関東 静子  
益山 藍瑠

(順不同・敬称略。お名前に誤字等ございましたら、ご了承願います。)

当選された皆様、大変おめでとうございませう。賞金につきましては、一月末日までに貯金口座に入金いたしますのでご確認ください。また、当選された方にはあらためて文書にてご通知申し上げます。

当JAは、今年も皆様のお役に立てる金融機関として貯金業務はもちろん相談業務充実をはかり、皆様のご利用をお待ち申し上げております。

## 地元の食材を使った料理講習会を開催 上湧別地区女性部研修

えんゆう上湧別地区女性部では、12月12日に湧別町保健福祉センター（湧別町栄町）にて料理講習会を開催し、15名が参加しました。

湧別町の太田栄養士を講師に迎え、「地元の食材を使った料理」をテーマに、ピーフシチュー、玉葱とツナの蒸焼、南瓜とピーマンの甘辛炒め、フルーツミルクプリンの合計4品の作り方を教わりました。

部員たちは普段から家族の食事と



あっという間に4品が完成しました



研修中に開かれたプチ講座の様子

健康管理を任されていることから、手際よく1時間半程で全ての料理を作り終えました。

調理が一段落した中、食事量に関するプチ講座も開かれ、部員たちは熱心に耳を傾けていました。

最後に、出来上がった料理を部員みんなで試食し、楽しいおしゃべりに花が咲き、有意義な研修となりました。

## 女性部フレッシュユミズ合同研修会

J A女性部フレッシュユミズでは、12月9日にJ A本所にて合同研修会を開催し、部員13名で(有)遠軽種苗園の方々を講師に招き、しめ飾り作りを体験しました。

しめ飾り作りは、しめ縄に色彩豊かなドライフラワーや小物を、グルーガンやペンチを使って装飾し、部員たちは新年を迎えるにあたって

素敵なしめ飾りを制作しました。

研修中、部員たちはお互いの作品を見比べて相談しながら作りつつ、近況報告をするなど交流を深め、楽しい研修となりました。

今後もフレッシュユミズでは、様々な企画を合同研修会でおこなっていきたいと思いますので、多くの参加よろしくお願い申し上げます。



研修中の様子



色とりどりのしめ飾りができました



# JAえんゆう青年部設立20周年記念式典

JAえんゆう青年部は、12月13日、遠軽町ホテルサンシャインにて、青年部員ならびに歴代部長、来賓各位を含む42人が出席し、設立20周年記念式典を開催いたしました。

式典では、JAえんゆう青年部の福島達也部長から式辞を述べたあと、湧別町石田昭廣町長、遠軽町佐々木修一町長、網走農業改良普及センター遠軽支所の竹岡裕之支所長、えんゆう農業協同組合の中川菊夫組合長からそれぞれ祝辞を

いただきました。

続いて、前回の設立10周年記念式典以降に就任した歴代部長9名の功績を称え、感謝状と記念品が贈呈され、受賞者を代表して、湧別町南兵村二区の梶原達矢さんより祝辞をいただき、滞りなく記念式典が行われました。

最後に出席者全員で記念撮影を行った後、同会場にて祝賀会が行われ、青年部の更なる発展を祝し、盛会のうちに終えました。



記念式典の様子



歴代部長を代表して祝辞を述べる梶原達矢さん



# 酪農青年部視察研修

えんゆう農協酪農専門部は11月27日から28日にかけて、江別市工業町にあるヤンマーアグリソリューションセンターへ研修に行ってきました。

ヤンマーアグリソリューションセンターは、最新の農業機械の情報発信や土づくりに対する知識の向上、農業機械研修の開講といった、「農」をクリエイトする施設であり、私たち酪農専門部は工場見学をしました。

工場内はジョンドクターやコンバイン、他作業機等が組み立てられており、また海外から輸入されてきたトラク



視察研修の様子

ターを日本の交通法の基準に合うよう部品替えや取り付け作業が行われていました。

研修を終えた後、札幌市内で宿をとおり、懇親会ではお互いの親睦を深めました。翌日は途中天候に恵まれないうちもありませんでしたが、無事帰路につき視察研修を終えました。

# 令和元年度役員海外視察研修

(研修国ベトナム ハノイ・ホーチミン)

視察実施日時 令和元年11月12日～令和元年11月17日(6日間)

報告者 理事 情野 修

本年度の役員視察研修は、ベトナム ハノイ ホーチミンに、役員9名、随員職員2名、合計11名で視察した状況を報告させていただきます。

## ■ベトナムの概況

国土面積は、33万平方キロメートル、北部から南部と縦に長い国であります。人口は9600万人で、バイクの所有台数は全世界で4番目に多い国であります。北部ハノイは政治の中心地で、気候は亜熱帯気候で四季があり、南部ホーチミンは経済の中心地で、気候は熱帯モンスーン気候で、乾季と雨季に分かれています。

## ■視察概要

早朝5時半に生田原支所を出発。遠軽支所本所経由で各参加者が乗車し、女満別空港に到着。今回の視察研修で案内してもらう東添乗員と合流後、飛行機で予定通り羽田空港に到着しました。羽田空港内レストランにて昼食後、リムジンバスにて成田空港に出発。14時頃成田空港に到着し出国手続を済ませ、18時半発



生徒の前で日本の話をされる中川組長

AL便にてベトナムハノイに向けて出発し、ハノイには現地時間22時半(時差はマイナス2時間)に到着。現地ガイドと合流し、バスにてホテルに向かいました。

初日は、移動の1日でした。

二日目は視察研修先である、日本語教育センターを訪問視察しました。センターの現状は、収容人数は320名で現在約300名の実習生がおります。ベトナム教師の数は21名であり、内日本人教師が2名います。1クラスの人数は10～20名で

す。年齢は19歳から30歳位までの男女となります。実習生は、ハノイを中心に100km圏内より集まって来ます。

ベトナムの国民性は、明るく素直で素朴、勤勉であり、女性は非常に働き者との事です。又、親日感情が高く、日本からのODAで出来た施設、道路、橋などがあります。

しかし、ベトナム人は時間配分や段取りが苦手で、細かい事は気にせず仕事が大雑把であるとの事。

この学校での教育方針については、入国までの4ヶ月～6ヶ月間で日本語、態度、5S、生活習慣などを学びます。日本語の教育は、読む、書く、言葉の意味を理解出来る様にするととの事です。

学校での一日は、朝五時半に起床し八時～午後四時まで授業、夜七時～十時まで自習して勉学に励んでいる様です。

教育期間を経て、単位を取得後日本へ出国、実習が出来る様です。

又、授業中に組長が教室に入り、日本の話をした所、起立し話を聞いていました。さらに生徒から日本の気候等の質問があり、一つひとつの質問に対し、組長が回答いたしました。

ここでの感想ですが、生徒一人一人が、一生懸命勉強し一日でも早く日本に行きたいと言う思いが強く感



日本語教育センターにて

じられました。

その後ハノイ市内に戻る道中、日本では考えられない事が！何と道路の中央にある、花壇の様な草地に牛が十頭位放し飼いの状態でした。飼主は近くにいない。(謎)

ハノイ市内に車を走らせて行くとバイクの数もだんだん増えていき、バスの周りも左右前後、バイクだらけで交通ルールもあるのかと思う位クラクションを鳴らして走っています。日本ではあおり運転が問題視されていますが、ベトナムではこれが当たり前なのか、バイク、車同士のもめごともなく走っています。

食事は中華料理をいただきましたが、日本で食べる中華料理とは違い香辛料が強いのか少し苦手な味でした。

三日目はハロン湾を視察致しました。ハノイ市内から車で4時間位の場所であり、海面からいくつもの奇岩がそそりたつ景観は幻想的で、その奇岩の間を縫うようにめぐるクルーズは、世界遺産にふさわしい景色で感動致しました。

ここからハノイドバイ空港に行き空港内レストランにて夕食後、20時の飛行機でホーチミンに向かいます。ホーチミン到着は23時着。ホテルには、24時着と長い一日が終了しました。

四日目はホーチミンでの視察となり、果樹農園を視察して参りました。ホーチミン市内から車で二時間位かかり、道中車内からは田畑がみられ



役員ならびに随員一同(ハロン湾船上にて)

ます。日本と違うところは、田んぼの端の方に土地所有者のお墓がある事です。現地ガイドによりますと、そこにお墓を作る事で、子供達が土地を売買しない様にと言う事らしいです。畑にはトウモロコシや豆、芋などを栽培しています。又、民家の庭先にはザボンやザックフルーツなどの木があります。ベトナムでは農家の暮らしは一世帯当たり、一万五千円〜二万円と生活は苦しいようです。そうしている内にバスはメコン川に到着。ここから果樹農園までは船で向かいます。川といっても日本とは違って、大型船も行き来するほど大きな川です。途中川の中ほどで魚を養殖している所もありました。反対側の岸に到着すると、ここから馬車に乗って農園にむかいます。

農園面積約55a、栽培果樹はザボン、バナナ、ザックフルーツ等です。従業員四人程で管理している様です。バナナの木は一回の収穫でその木は終了で、伐採します。しかしその横に次の木が出てきて、その木のバナナを収穫します。それを繰り返す行方です。

各果樹が収穫期になると、バイヤーが買いに来て、値段を決めて売買するそうです。年収までは教えてくれませんが、かなり儲かっている感じがしました。

来た道を又、馬車で戻り途中から



果樹農園視察の様子

小さな川を、いかだの様な船にて、前後で船頭さんが手漕ぎで、川を下って行く体験をしました。又、乗ってきた船に乗り戻る途中、ハチミツとロイヤルゼリーを試食し、おみやげ用のハチミツ等を購入しました。

本日の昼食会場のレストランは以前日本の皇太子様が食事をされた所でもあり、ベトナム名物料理をお召し上がりになられたそうです。メコン川でとれた、エレファントフッシュの素揚げが、メインの料理で、一同大変おいしくいただきました。

昼食を終えて、ホーチミン市内観光に向かい初めに統一会堂を見学しました。ここは南ベトナム政権時代の大統領官邸を、博物館にしたものです。内部には内閣会議室や地下指令室など100以上の部屋があり、一

部が当時のままの状態で公開されています。その後、サイゴン大教会、中央郵便局等を車内から見学後ホテルに戻りました。

翌日早朝五時、空港に向けホテルを出発しました。

八時の飛行機に乗り日本成田空港に向けて出発。日本時間の午後三時半に空港に到着し入国手続きを終え、空港近くのホテルに到着。宿泊したホテルには大浴場やサウナもあり、視察の疲れを癒し、午後六時から最後の会食が始まり、「やっぱ日本の料理はうまい」と、日本料理を堪能していました。

ここで、ベトナム出発前に成田空港免税店で組合長が買った、高級日本酒三本をT支所長が、ベトナムまで大事に持っていき、本当はベトナムで飲む予定であったが、機会がなく日本まで持ち帰りやっこの会場で開けて飲みました。(組合長ごちそうさまでした。)

翌日朝8時半にホテルを出発。羽田空港に到着後搭乗手続きを済ませ、40分程遅れで女満別空港に15時に到着し、参加者全員怪我、病気、脱落もなく役員研修を終える事が出来ました。

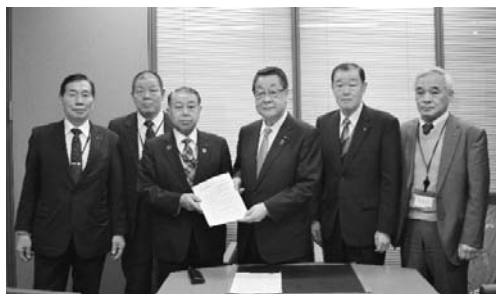
最後になりましたが、今回このような機会を与えていただいた事に感謝するとともに、報告に代えさせていただきます。



JAグループ北海道は、日米貿易協定の発効を目前に控えた状況下で、総合的なTPP等関連政策大綱などの見直し、経営所得安定対策の単価改定、加工原料乳補給金単価の設定など、農業の担い手が意欲と希望を持って一層の農業経営の体質強化に向かえるよう、政府・与党等に対し働きかけを行って参りました。

結果として、農業関係補正予算、当初予算とも前年を上回る額が措置されることに加え、農業生産基盤の強化や家族経営への支援などが盛り込まれるなど、北海道の農家・組合員の営農継続に一定の道筋をつけられました。

今後も北海道の農家・組合員が国際競争や災害に負けない力強い農業・農村の構築と所得向上の実現を図り、持続可能な北海道農業の確立に向けて取り組んでまいります。



※吉川前農林水産大臣に要請書を手渡すJAグループ北海道要請団

## JA北海道信連



JA北海道大会の将来ビジョンの実現に向けて、JAグループ北海道農業経営フォーラムを札幌市内で11月に開催しました。今回のフォーラムでは、「農業経営に地域の魅力をいかす」をテーマに、宮城県で主に水稻と養豚を営む有限会社伊豆沼農産の伊藤社長より農村自体を産業化する取り組みについて、商品ジャーナリスト北村森氏より道内農畜産物の魅力を伝える秘策について講演がありました。



## JA共済連北海道



JA共済連北海道は、11月8日より「JA共済有村架純&浜辺美波の限定LINEスタンプ」のダウンロードを開始しています。JA共済限定LINEスタンプの提供は、JA共済へ興味・関心をもっていただき、資料請求者をより一層拡大していくことを目的としております。有村架純&浜辺美波の限定LINEスタンプのダウンロードについては、QRコードを読み込み、アンケートに回答いただきますとダウンロードすることができます。



## ホクレン



ホクレンは、コーポレートメッセージ「つくる人を幸せに、食べる人を笑顔に」を広く発信し、北海道農業とホクレンの事業をわかりやすく伝えるためにアニメーション動画を制作し、12月19日からYouTube上で公開を開始しました。動画の主題歌には槇原敬之さん、主人公役の声優には「なつぞら」の番長役の板橋駿谷さんを起用し、WEB媒体を活用して道内生産者・JAおよび全国の消費者・取引先へ広く発信してまいります。



## JA北海道厚生連



令和元年11月30日（土）遠軽厚生病院にて遠軽町・湧別町・佐呂間町の中学生を対象に医療技術体験セミナーを開催しました。当日は、46名の参加がありました。薬剤師や検査技師などの仕事を知り、進路選びの参考にしよう狙いで、毎年実施しています。今後も継続して実施してまいります。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介いたします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



# 全道JA青年部大会

12月5日～6日、全道各地のJA青年部が集う第68回全道JA青年部大会が札幌市パークホテルでJAえんゆう青年部員8名を含む全道の若手農家他800人を集めて開催されました。

大会1日目に、青年の主張大会や青年部活動実績発表大会、分科会を見聞して見識を深めました。全体懇親会では、JA道青協会会長杯各地区対抗アームレスリング大会が行われ、



## 全道大会の様子

2日間を通して、多彩な内容の発表を拝聴し、大いに学び、全道の盟友たちと結束を深め、有意義な大会参加となりました。

オホーツク管内を代表し、湧別町北兵村三区の松浦慶太郎員が出場、奮闘しましたが準決勝で惜しくも敗退しました。

大会2日目は、基調講演に株式会社セコマ代表取締役社長 丸谷智保氏を招き、「地域に密着した経営理念と北海道の農畜産物に求めるもの」を演題に顧客にリーズナブルな価格で販売するために、物流コストの削減や生産性の向上を図るための機械の導入など様々な事業を見直し、北海道ブランドの価値を高めるために地域の特色を生かし、農畜産物を使用した商品開発をするなど、地域に密着した経営を行うと述べました。青年部も消費者とのつながりを作る上で消費者のニーズに応え、安心・安全な農畜産物を提供するために試行錯誤を行うことを再認識いたしました。

**3つの特集** “いま”知りたいテーマの特集が毎月3つ

- らくしんか
- 最高! ご飯のお供
- 暮らしの知恵

**家の光** 11

特集 **らくピカ掃除術**

年6回別冊付録が付きます

健康 健康寿命100歳めざして

手帳に作れて暮らしに役立つ

料理 毎日のごはん 作りの強い味方

読みたい記事がきっと見つかる!!

食と農から始まる。JAグループのファミリー・マガジン

定価(税込)

- 普通月号 629円
- 付録月号(1・4・5・7・9月号) 922円
- 家計簿付き12月号 1,027円

※消費税率変更ともない。2019年12月号より定価改定いたします。

お申し込みはお近くのJA本・支店(所)へ JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11 TEL 03-3266-9039 <http://www.jenohikari.net>

# 退職者挨拶



本所農産課  
青果物センター係  
中津川 恵輔

初冬の候、組合員の皆様にかかれましては何かとご多忙の事と存じます。さて、私事ではございますが、11月末日をもちまして退職させて頂きました。平成23年に入組してから約9年間、本所金融課、中湧別支所金融課、本所畜産課、本所農産課青果物センターに勤めさせて頂き、この間は大変お世話になりました。在職中につきましては、皆様方に数々のご迷惑をおかけしながらも、至らない私に温かいご指導とご支援を頂きましたことを心より厚くお礼申し上げます。最後になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。そしてえんゆう農業協同組合の益々のご発展をご祈念申し上げます。退職の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

## 賀正

昨年中はご愛顧を賜り

厚く御礼申し上げます。

本年も旧に倍しての御愛顧の程

宜しくお願い申し上げます。

社員一同、皆様の御用命を

心よりお待ちしております。

令和二年 元旦

(株)ジエーエーえんゆう

燃料事業部

農機・整備事業部

エコープ事業部

## 令和2年度 営農計画書作成支援日程

本所(会場：本所 大会議室)・遠軽地区(会場：遠軽支所 大会議室)

日程	曜日	午前9時～午後12時	午後1時～午後4時
1月20日	月	開盛・札富美・旭	
1月21日	火	富美・上富美	
1月22日	水	北兵村二区・三区	北兵村一区
1月23日	木	屯田市街地	南兵村二区
1月24日	金	南兵村一区	南兵村三区
1月27日	月	千代田・社名淵・美山・若松・丸瀬布地区	
1月28日	火	学田・向遠軽・豊里・清川	
1月29日	水	栄野・瀬戸瀬・湯の里・若咲内	

※協議日程の都合が悪い方は、別会場・別時間でも参加可能です。

但し、別会場希望の方は、事前に担当者までご連絡お願い致します。

尚、日程が変更になる場合は、都度連絡申し上げます。

●白滝・生田原地区につきましては、1月8日以降、個別にご連絡させていただきます。